

愛知版

No.478

能登半島地震の被災者に謹んでお見舞い申し上げます。



*今月の花 ホトトギス

平和で希望の年に
本年もよろしくお願ひします

新春インタビュー



経営プリント
天野洋一氏

【ききて】

小出和子

（日朝協会愛知県連/事務局）

日朝県連とのおつきあい四〇年

大きく変化の『紙』文化

ハド面で苦慮、ソフト面は新世代に期待



天野洋一氏（ご本人提供）

「県連の会報『日本と朝鮮（愛知版）』の印刷については、長年、毎月お世話になっており、感謝しております。」

印刷のお仕事は社会・文化、とくに地域社会のコミュニケーションにとって、欠かせないお仕事をこなしておられると、理解していますが、この大仕事に取り組まれたきっかけからお話し下さいませんか。

天野 生まれは、一九四八（昭和二三）年五月。名古屋市昭和区吹上です。吹上小、北山中、名古屋北高そして愛知大に進みました。

大学を出て、Y建設に入り、五年ほどして、当時印刷業を営む父親（天野銀一氏）の関係で、印刷業界へ。

他会社で勉強（修行）してからと、まずは『Cオフセット』会社でお世話になりました。一九七

五〜一九八〇年までの事です。

「私共の日朝協会県連との関わりは古いですね。」

天野 日朝協会愛知県連発行の機関紙（会報）印刷は、名鉄『金山駅』近くにある印刷所で、父親と一緒に仕事をした三〇代から。もう四〇年ぐらいになりますね。

この間、仕事の内容も納品までのプロセスも、色々変化しましたよ。

「例えば、どんな変化？」

天野 日朝さんから、たとえば一六頁分の版下を朝方にいただきますよね。ひと頃は、昼頃までに印刷を終えて、納品していたこともありました。午前中の離れ業の作業でしたよ。

「変化」と云えば、例

えば、事前に外注していた写真製版(カミヤキ)屋さんの廃業が続いた。そこで、この作業をウチでやるようになりました。全ページの版下をもらい、夕方までに印刷を終えるようにし、最近はさらに、発送封筒に入れられるように、二つ折り、四つ折りの作業も、ウチでやって、納品しています。

「業界全体の変化でもあったわけですね。」

天野「今の印刷屋の形になるはじめは、愛知県印刷工業組合を、父親が仲間と一緒につくって、その事務局長になり、六十年ががんばってやって来ました。」

「父親の天野銀一さんは古くからの社会運動家で、著名な方、お話はほかでも、

聞きますが、お母さんはどんなお方ですか？」

天野「看護婦でした。家計も母親の収入に頼っていた時期も、そういえば、ありましたね。」

「銀一さんの頃の印刷様式からは、今は大きく変わったんですね。」

天野「父親の若い頃は、ガリ版刷りとか、古いタイプの印刷をしていたのが、仕事がどんどん増えてくると、協同組合参加の印刷屋も、新しい機械を入れたりしなければならぬ。コンピューターを使う仕事も出てくるし、大変な時代になっています。」

労働組合のA労連やA教連等にも仕事を貰い、忙しかった時が夢のようです。政党でも選挙になる

と、ポスターやらビラの印刷、それぞれ期日が決まっているので、大変な仕事になります。

大きな労組などの組織・団体は、最近はそのれ印刷機械を入れたりして、こなしている。その分、私も印刷屋の仕事は激減しているわけです。

「がんばってもらわないと。ウチの会報発行にとっては天野さんは命綱ですからね。」

天野「これでも生き残っている方ですよ。」

コンピューター仕事を取り入れる分野や余地はもちろんありますが、大きな会社のような訳にはゆきません。

昔からの印刷のやり方ではやってゆける間は、やり続けてゆきたいんです。

今やっているオフセットの印刷機械は壊れると修理が困難で、部品の調達が困難になる。何年保つかが問題。消耗品のよな機械だから、仕方がない。致命的になりかねませんが。

このようにハード面での困難を抱える一方、現代アートに取り組む、下の娘が今、一緒に仕事をしています。新しい形でやり始めてくれるので、生き残っているともいえます。

「月々の会報だけでなく、大変お世話になった一件があります。それは、江戸時代の日本と朝鮮間の交隣を示す朝鮮通信使関連の出版・印刷についてです。」

戦前の京城帝大で朝鮮語を学ばれた若松実さんが、『翻訳ロボット』を自称して、朝鮮通信使使用録、約二十巻の和訳に取り組まれましたが、出版と配本は

日朝協会県連がやりまし
た。

印刷は天野さんのところ
でお願いましたね。

天野 朝鮮通信使使行
録の印刷・製本は、その
後の貴重な本づくりの事
業にもつながりました。

手書きの版下にも対応し
ていただいたんですね。

天野 そうですね。第一次朝
鮮通信使使行録、慶七松
『海槎録』の初版は、事
務局の手書きであったこ
とが思い出されます。

その後、ワープロ活
字の時期もありました
ね。

刷っていただいたもの
を、広い場所を借りて、長
机に頁順に並べ揃えて、製
本作業をした事もありまし
た。

手作業のプロセスもあっ
て、印刷・製本のスピード

が、若松先生の和訳作業の
テンポに追いつかず、先生
が、韓国の印刷屋に直接持
ち込む事もありました。
第四次朝鮮通信使の記録
・任統『丙子日本日記』(一
九八八)、第十二次朝鮮通
信使の記録・柳相弼『東槎
録』(一九八九)などが、
そうでした

天野 文化活動上の、
チームワークが大事ななん
でしょう。

私的なことになります
が、昔、ペンション経営
が流行った頃があり、私
も一時、今の印刷の世界
に入る前のことですか、
Y建設にいたりしたの
で、少しは解っていたつ
もりで、長野方面のペン
ション経営に手を出した
ものの、そんなに甘いも
のではなく、数年で退き
ました。が、大いに勉強
になりました。
今の金山にある印刷所
は長屋造になっていて、

それを修理して、協同組
合として、皆で 始めた
経過もあります。今もそ
のまま改装しながら使っ
ている状況です。

お身体の方は？

天野 今、七五歳にな
りますが、やはり健康面
では、血圧が高かったり、
内蔵にガンが見つかった
り。転移はしていなくて
安心しましたが、その後、
屋根から落ちて骨折した
り、大変。幸いにして、
今は、仕事に戻れていま
す。

なんとしても、お元気で
ご活躍してください。

今日は多忙な時期、時間
をとっていただいてありが
とうございました。

★お話をうかがった
のは、十一月五日です。



自治労連愛知県本部

執行委員長 林 達也

名古屋市中区柳原三三七一八
電話(〇五二)九二六一三三五一

憲法が輝く名古屋をつくらう!

名古屋市職員労働組合

執行委員長 武藤 貴子

名古屋市中区三の丸三三一一一
電話(〇五二)九六二七八二二

愛知県高等学校教職員組合

執行委員長 加藤 聡也

名古屋市中区新栄一四九一一〇
愛知県教育会館内
電話(〇五二)二二六一八二五五

弁護士法人春日井法律事務所

春日井市鳥居松町五丁目八番地
名古屋北セントラルビル6階
TEL 〇五二八八八五八五
FAX 〇五二八八八五八七

1944.12.7

東南海地震犠牲者を追悼する集い

名古屋市南区豊田 名南ふれあい病院構内



追悼の集い終了後の記念写真 (平山さん提供)

「追悼碑」管理3団体が呼びかけ

東南海地震犠牲者を追悼する集いが、十二月七日の午後、名南ふれあい病院(名古屋市南区豊田5)敷地内にある追悼記念碑前で開かれました。

同追悼碑を共同管理する、(医)名南会、国民救済会名南支部、愛知県平和委員会の三者が呼びかけたもの。

開会の言葉を矢野創氏、管理団体代表あいさつを早川純午氏、連帯のあいさつを小出裕氏、メッセージを、近藤昭一氏、須山初美さん、本村伸子さん、平山良平氏から受けました。

同地震のあった時刻、午後一時二六分に合わせ、全員が黙祷し、閉会の言葉を高橋信氏が述べました。

その後、参加者全員がそれぞれ、追悼碑とその左側にある光州市民の会が建てた碑に、献花。記念の集合写真を撮って集いを終えました。

愛知民報

名古屋市中区新栄三丁目二二番五
電話(〇五二)二五一一九二五

保険調剤・漢方相談

十全薬局

千四六四一〇八五〇

名古屋市千種区多治二丁目3番6号

電話 〇五二一七三三三三九七

FAX 〇五二一七三三三三九七

城内ホルモン

梅田屋

千四六四一〇八五〇

名古屋市千種区多治二丁目十三番八号

電話 〇五二一七三三三三三九七

お米の

太田屋

名古屋市中村区名西通二丁目二
電話(〇五二)四八一四三三九

水工舎

千四六四一〇八五三

名古屋市千種区小松町七四一

電話 〇五二一七三三三三九八

FAX 〇五二一七三三三三九八

第39回戦災・空襲記録づくり東海交流会開催

2023.12.10 名古屋・ピースあいち



東海交流会の会場風景（金子さん提供）

「模擬原爆」報告3本、「地域空襲」報告12本
調査・保存、次世代への継承、共有課題 明らかに

十二月十日の午前・午後、名古屋市名東区の「戦争と平和の資料館・ピースあいち」で第三九回戦災・空襲記録づくり東海交流会が開かれました。会場とズームで、合わせて五七人の参加がありました。午前は「パンブキン（原爆模擬爆弾）特集」と銘打ち、西東京、兵庫、豊田、三本の報告があり、午後には各地から、特別報告三本、継承・保存三本、調査・記録で六本の報告がありました。【次頁参照】

二十代の若者からの、画像を使った報告が目されました。毎年暮れにほぼ全国の活動報告が寄せられる「東海交流会」の役割の大きさを感じさせられる会でした。

世話人で、会の進行役をつとめた金子さん（愛知・春日井の戦争を記録する会）は、「来年は第四〇回を迎えます。十年前の第三〇回では、『記念誌』の発行、記念講演をしましたが、四〇回では何ができるか、皆さんの率直なお考えを聞かせて下さい」と語っています。



報告一覽

第一部(午前の部)

パンプキン特集

○奥 柗太 (東京) 「西
東京市のパンプキンと
動画による記録」

○西岡孔貴 (兵庫・神戸
大) 「パンプキン研究
のこれからー着弾地
点調査と外交史への応
用」

○松原勝己 (愛知・豊田)
「『私がトヨタにパン
プキン爆 弾を投下し
た』一フレデリック・
ボックの手紙」

第二部(午後の部)

【特別報告】

○有留真由 (愛知・半田
空襲と戦争を記録する
会) 「『ロボットになっ
たあきおくん』で伝え
たいこと」

○中島裕子 (岐阜) 「岐

阜空襲に従軍した米兵
の手記から分かったこ
と」

○長坂すぎ子 (愛知・豊
橋空襲を語りつぐ会)
「名古屋陸軍兵器補
給廠豊橋分廠につい
て」

【各地からの報告ー継承
・保存を中心に】
○寺脇正治 (愛知・瀬戸
地下軍需工場跡保存を
すすめる会) 「二〇二
三年活動報告」

○坪井二郎 (愛知・半田
市平和資料室をつくる
会) 「半田平和資料室
設立運動について」
○赤澤ゆかり (愛知・ピ
ースあいち) 「ピース
あいちの語り事業」

【各地からの報告ー調査
・記録を中心に】
○清水啓介 (愛知・戦争
遺跡研究会) 「会報『年
魚市風土記』紹介」

○岩崎健弥 (愛知・全国
空襲被害者連絡協議
会) 「日本はまだ戦前
・戦中なのだ」

○矢野慎一 (神奈川・戦
時下の小田原地方を記
録する会) 「一年間の
活動報告」

○梶田 稔 (愛知・半田
空襲と戦争を記録する
会) 「二〇二三年活動
報告」
○木戸 聡 (敦賀) 「敦
賀空襲をめぐる二〇
二三年の報告」

○金子 力 (愛知・春日
井の戦争を記録する
会) 「名古屋陸軍兵器
補給廠関連資料」
【質疑応答】

【まとめ】
○小出 裕 世話人 (愛
知・日朝協会)

【諸連絡・閉会のことば】
○金子 力 世話人・事
務局 (愛知・春日井の
戦争を記録する会)



弁護士法人 名古屋北法律事務所
〒462-0819 名古屋北区平安 2-1-10
第5水光ビル3階

電話 052・910・7721

ちくさ事務所

電話 052・763・6247
<http://www.kita-houritsu.com/>

弁護士法人 名古屋法律事務所
名古屋市中村区則武 1-10-6

TEL052(451)7746

みなと事務所
名古屋市港区九番町5-3-1
TEL052(669)7020

みどりの事務所
名古屋市緑区有松3-13-1
TEL052(669)0000

名古屋共同法律事務所
名古屋市中区大須四丁目十三番四六号
フィストリアビル五階

電話 (052)2617706

FAX (052)2617706

名古屋第一法律事務所
名古屋市中区丸の内二丁目十八番一三
三層ビル五階

電話 (052)2211336

FAX (052)2211337

国家事業の発展方向



「労働新聞」に掲載された
「朝鮮労働党中央委員会第8期
第9回総会拡大会議に関する報道」

朝鮮対外文化連絡協会

【編集者まえがき】本欄は、我が国とは未国交状態にある朝鮮民主主義人民共和国の立場や日朝関係をきつく見解を理解できるように、同国の対外文化連絡協会（ピョンヤン）を通じて日朝協会愛知県連（名古屋）に直接送られる情報・資料をそのまま紹介する欄です。

【朝鮮民主主義人民共和国
ピョンヤン 2024年1月1日】
原文/日本語

新年を迎え、先生をはじめ貴団体の皆様の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈りいたします。

ご存知のように二〇二三年十二月二十六日から三〇日まで、わが党と人民の一致団結した闘いで収めた二〇二三年の勝利を誇り高く総括し、新年度の党および国家事業の発展方向と方略を策定する歴史的な朝鮮労働党中央委員会第8期第9回総会拡大会議が平壤で開かれました。

拡大会議では朝鮮労働党総書記である敬愛する金正恩同志は党と国家の二〇二四年度の闘争方向についての綱領的

な結語を述べました。二〇二三年十二月三十一日付の「労働新聞」に掲載された「朝鮮労働党中央委員会第8期第9回総会拡大会議に関する報道」の当該部分をお送りいたします。

金正恩総書記は、核戦争の瀬戸際に至った朝鮮半島地域の危うい安保環境と敵対勢力の軍事的対決策動の性格を分析、評価し、国家防衛力の急進的発展を一層加速させることに関する重大な政策的決断を宣明した。

今年に入っても、米国とその追随勢力の反朝鮮対決策動

は依然として悪辣に強行され、危険さは史上前例がないほど、敵のあがきは極に至っている。朝鮮半島地域の情勢不安定を誘発させ、引き続き悪化させてきた米国は、一年が暮れていくこの時刻もわが国家に対する相異なる形態の軍事的威嚇を加えている。

わが共和国に対する敵視政策を実現する上で最も忠実な手先、「忠犬」となっている南朝鮮の連中と日本の連中をよき執拗に引き入れて両者、3者協力の大拡大を謀り、反朝鮮共助体制を構築するための米国の策動は安保不安を抱えて

いる南朝鮮の連中の利害関係とマッチして、今年に入って一層ひどく拡大された。米大統領は、われわれの「政権の終焉まで公開的に行う」ぬんして南朝鮮の連中と反朝鮮核対決綱領であるいわゆる「ワシントン宣言」を作り上げ、核兵器使用の共同計画および実行を目的とした「核協議グループ」を新設、稼働させたし、それを盗用して公然と世界の面前でわれわれに対する核戦争の悪巧みを口を極めて押し進めている。

日本、南朝鮮の連中と頻繁に集まって長期的な反朝鮮共謀結託を約束し、対立方案論議と3者訓練の定例化を実施するなど、われわれのいわゆる「威嚇」に対処するという不当な口実を設けて3角共助体制の強化に狂奔する米国の挑発的態度は、朝鮮半島情勢をより予測し難く、危険な状況へ追い込んでいく。

看過できないのは、南朝鮮に超大型戦略原潜が四〇余年ぶりに再び入ってきたし、核戦略爆撃機が史上初めて着陸したかとすれば、超大型原子力空母打撃集団を時を構わず送り込むなど、各種の米国核戦略手段の連続的な朝鮮半島

地域投入で南朝鮮が米国の前方軍事基地、核兵器廠に完全に変わってしまい、これに各種規模の合同軍事演習まで「歴代最大」「史上最高」の記録を立てて一年中、絶え間なく拡大、強行されたことである。

今年に、米軍部「ろ」が日本、南朝鮮の連中と繰り広げた合同軍事演習の回数が昨年比比べておよそ2倍に増えた事実を通じて、米国がわが共和国との軍事対決をあくまで目的とし、その準備に一層ヒステリックに没頭していることが明白に分かる。

わずか数日前も、米国の連中はかいらいをワシントンに引き入れて第2回「核協議グループ」の謀議をこらして来年の半ばまで「核戦略計画および運用に関する指針」と「拡大抑止体制」を構築し、八月に入って大規模合同軍事演習期間に核作戦演習を施行するということを世界の面前で公開したのとタイミングを合わせて、またもや原潜を朝鮮半島に出現させることで、今年が暮れていく最後まで挑発を仕掛けてきた。

現実には、米国が痼疾的に濫発している反朝鮮敵対行為が単に、修辭的威嚇や誇示性目

的だけに限られたものではなく、実際の軍事的行動につながって双方武力間の衝突を誘発させかねない犯行段階に明白に進化したということを見させている。

結語では、尹錫悦かいらい政権が発足した以降、引き続き悪化一路に沿って突っ走ってきた北南関係が最近になって一層醜悪になった逆徒の反朝鮮対決妄動によって不信と敵対を上積みし、形式上にも武力衝突防止という微弱な使命を果たしてきた9・19北南軍事分野合意の破棄という結果までもたらしたことに

注目すべきことは、尹錫悦かいらい一味が不法無法の幽霊機構である「国連軍司令部」を第2の朝鮮戦争挑発のため多国籍戦争機構に拡大してわれわれとの「力のバランス」を成し、最後まで対決しようとする自滅的な企図をしていることである。

最近、かいらい軍部の頭目らが極端な好戦狂に次々と交代されている中、軍事境界線地域で敵の挑発的妄動が一層ひどくなり、全般的なかいらい軍武力が再編成および増強されている事実など、日ごと

に表面化している急進的な軍事的動きも明白に不純な侵略戦争企図の発露である。

金正恩総書記は、諸般の事実が見せているように、米国とその特等手先の対決本性は醜悪な根本において少しも改進されなかったし、むしろ一層露骨になり、一層悪辣に変異していると述べた。

朝鮮半島地域の危険な安保環境を時々刻々激化させ、敵対勢力が強行している対決的な軍事行為を綿密に注目してみれば、「戦争」という言葉はすでにわれわれに抽象的な概念ではなく、現実的な実体として迫っている。

現在の重大な情勢は、わが共和国をして敵のあがきがひどくなるほど、いかなる形態の挑発と行動も一挙に抑止できる圧倒的な戦争対応能力と徹底して完全な軍事的準備態勢を完璧に整えるための事業に引き続き拍車をかけることを求めている。

人民軍は、一刻一刻先鋭に変化している朝鮮半島の安全状況を鋭く注視して鋭敏に管理し、常に圧倒的な姿勢で対応しながら、国家の安全を鉄桶のごとく守るための軍事的対策をより拔かりなく整えるべ

きであり、万一の場合、発生しうる核危機事態に迅速に対応し、有事の際に核戦力を含む全ての物理的手段と力量を動員して南朝鮮の全領土を平定するための大事業の準備に引き続き拍車をかけていくべきである。

結語では、軍需工業部門が国防工業の自立的土台の強化と武装装備の開発・生産で収めた成果を一層拡充させて、わが党の国防発展戦略の成功裏の実行を頼もしく裏付けていくことについて指摘した。

核兵器部門で、核兵器の生産を持続的に増やせる頼もしい土台を構築し、二〇二四年度の核兵器生産計画の遂行のための力強い闘いを展開していくことが強調された。

また、ミサイルの開発および生産部門の重点目標と戦闘的課題が提示された。

宇宙開発部門で、二〇二三年に初の偵察衛星を成功裏に打ち上げて運用している経験に基づいて、二〇二四年に三つの偵察衛星を追加に打ち上げることに関する課題が宣明され、宇宙科学技術の発展を力強く促すための国家的次元の全幅的な対策が講じられた。

結語は、船舶工業部門で第

2次艦船工業革命を起こして海軍の水中および水上戦力を向上させ、国防力発展5大重点目標の遂行で未達成の課題を早期に実行することを中心課題に提示し、無人航空工業部門と探知電子戦部門で現代戦の特性に即して各種の無人武装装備と威力ある電子戦手段を開発、生産することについて強調した。

国家防衛の一翼を担当した民防衛武力部門で、敵のいかなる戦闘行動手口にも主動的に、積極的に対処できるように訓練の内容と方式を不断に革新して労働赤衛軍指揮メンバーの作戦指揮水準と隊員の戦闘行動能力を一層高めるなど、戦いの準備を完成する上で提起される課題が提示された。

金正恩総書記は、二〇二三年の国際政治地形と力量関係で起きた巨大な地政学的変化と現国際情勢の基本特徴、朝鮮半島地域の対外的環境を深く分析し、対外事業部門でとらえていくべき戦略・戦術の方針を示したし、北南関係と統一政策に対する立場を新しく定立し、対敵活動で断固たる政策転換をすることについて宣明した。

対外事業部門では、変化、発展する国際情勢に主動的に、策略的に対処しながら、党の尊厳死守、国威向上、国益守護の原則に基づいて強国の地位にふさわしい共和国の外交史を記していかなければならない。

金正恩総書記は、社会主義国の政権党との関係発展に力を入れながら、国の対外領域をより拡大、強化し、変遷する国際情勢に合わせて米国と西側の覇権戦略に反旗を翻す反帝・自主的な国々との関係をより一層発展させて、わが国家の支持・連帯の基盤をさらに固めて国際的規模で反帝共同行動、共同闘争を果敢に展開していくことに関する課題を提示した。

強対強、正面勝負の対米・対敵闘争原則を一貫して堅持し、高圧的で攻勢的な超強硬政策を実施すべきである。

今年、われわれは米国と追随勢力のヒステリックな核戦争威嚇騒動に対処して、核に核で、正面対決には正面対決で応えるという絶対不変の対敵対応意志を再宣明して、徹底した戦争抑止力の圧倒的行使で敵に克服不可能な安保危機と恐怖を浴びせた。

敵が何を企もうとそれを超越する超強硬対応で、いかなる選択をしてもそれを圧倒する強力な実力行使で制圧していくのは、われわれの揺るぎない対敵闘争原則であり、方式である。

結語では、不信と対決だけを繰り返してきた苦い北南関係史を冷徹に分析したことに立脚して、対南部門で根本的な方向転換をすることに関する路線が示された。

今、朝鮮半島には米国と南朝鮮の連中の無分別な反朝鮮対決ヒステリーと軍事的挑発策動によって統制不能の危機状況が恒常的に持続している。膨大な双方の武力が対峙している軍事境界線地域でいかなる小さな偶発的要因によっても物理的激突が発生し、それが拡大しかねないということは周知の事実であり、現在の朝鮮半島に最も敵対的な両国が並存していることに対しては誰も否定できない。

この不正常の事態は、歴代かいらい政権の政策延長線から見る時、決して突然変異のような偶然の現象ではなく、北南関係史の必然的帰結である。

十年でもなく、半世紀をは

るかに超える長きにわたる歳月、わが党と共和国政府が打ち出した祖国統一の思想と路線、方針はいつも最も正当かつ合理的で、公明正大であるため、全民族の絶対的な支持、賛同と世界の共感を呼んだが、どれひとつもまともな実を結ばなかったし、北南関係は接触と中断、対話と対決の悪循環を繰り返してきた。

歴代南朝鮮の為政者らが持ち出した「対北政策」「統一政策」で一脈相通する一つの共通点があるなら、われわれの「政権崩壊」と「吸収統一」であったし、今までかいらい政権が十余回も交代したが「自由民主主義体制下の統一」基調は少しも変わらず、そのままたつながつてきたということ、その明白な生きた証拠である。

金正恩総書記は、われわれの体制と政権を崩壊させるといふかいらいの凶悪な野望は「民主」を標榜しても、「保守」の仮面をかぶっていても少しも異なるものがなかったと述べて、次のように続けた。

長きにわたる北南関係を振り返りながらわが党が下した総体的な結論は、一つの民族、一つの国家、二つの体制に基

づいたわれわれの祖国統一路線と克明に相反する「吸収統一」「体制統一」を国策と定めた大韓民国の連中とは、いつになっても統一が実現しない

ということである。今のこの時刻にも、南朝鮮の連中はわが共和国と人民を復帰させるべき大韓民国の領土であり、国民であるとはば

新年早々の日本地震被害 金正恩委員長が日本国総理に 慰問メッセージ

二〇二四・一・六

朝鮮対外文化連絡協会 李 成 虎

朝鮮民主主義人民共和国国務委員長金正恩同志は日本で不幸にも新年早々から地震により多大な人命被害と物質的損失が発生したのと関連して、一月五日、日本国総理大臣に慰問のメッセージを送りました。

国務委員長同志は遺族や被災者に深甚な同情と慰問を表し、被災

地の住民が一日も早く震災の影響を乗り越えて安定した生活を取り戻すことを祈念しました。

当協会は長い間、朝日友好を図るために尽力して来られた先生並びに貴団体のみなさまのご無事を願いながら改めて被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

かることなく公言しており、実際に大韓民国憲法というものは「大韓民国の領土は朝鮮半島とその付属島嶼とする」と公然と明記されている。現実には、われわれをして北南関係と統一政策に対する立場を新しく定立すべき差し迫った要求を提起している。

今や、現実を認めて南朝鮮の連中との関係をより明白にする必要がある。われわれを「主敵」と宣布して、外部勢力と結託して「政権崩壊」と「吸収統一」の機会だけをうかがう一味を和解と統一の相手に見なすのは、これ以上、われわれが犯してはならない錯誤と思う。

われわれが同族という修辭的表現のため、米国の植民地手先にすぎない怪異な一味と統一問題を論じるということが、われわれの国の風格と地位に似合わない。今、南朝鮮というものは政治は完全に失踪し、社会全般がヤンキー文化で混濁しており、国防と安保は米国に全的に依存する半身不随の奇形体、植民地属国にすぎない。

北南関係は、これ以上、同族関係、同質関係ではない敵対的な両国関係、戦争中にある

る両交戦国関係に完全に固着された。これが、こんにちの北と南の関係を見せる現住所と言える。

結語は、現実を冷徹に見て認めながら、党中央委員会統一戦線部をはじめとする対南事業部門の機構を整理、改編するための対策を立て、根本的に闘争の原則と方向を転換すべきであると強調した。

米国と南朝鮮の連中が、もしあくまでもわれわれとの軍事的対決をもちろもうとするなら、われわれの核戦争抑止力は躊躇せず重大な行動に移ると厳かに宣言するともに、対敵・対外事業部門で敵の無謀な北侵挑発策動によつて朝鮮半島でいつにでも戦争が起ころうとすることを既定事実化して、南朝鮮の全領土を平定しようとするのが軍隊の強力な軍事行動に歩調を合わせていくための準備を見通して講じていくことに關する重要課題を提示した。

私たちは今後も先生をはじめとする貴団体の皆様が朝鮮人民の正義の偉業に変わりのない支持と連帯を寄せてくださることと確信いたします。

敬具

論 評

世界が注目する 若き指導者

文 光 喜 愛知朝鮮学園理事長

十一月二二日に発射された、朝鮮初の偵察衛星「万里鏡1」号は新型衛星キャリア・ロケット「千里馬1」によって成功裏に打ち上げられ、正式偵察任務に着手している。現在、軍事偵察衛星を保有する国は一〇カ国と推定され、解像度は一〇一〇m程度だとしているが、この能力を持つことは対衛星兵器(ASAT)の保有に繋がり、宇宙核戦略の完成に大きく近づくことになる。①

二九年前に逝去した金日成主席と一二年前に逝去された金正日総書記の両葬儀に直接参加した筆者としては感慨いものを感じる。特に零下二〇度の酷寒の中で執り行われた葬儀から十二年の歳月が過ぎて、制空権に突破口を開き

米国の上空を見下ろせる「目」を持つようになったことが先代達がどんなに喜ばれていたかと思うと胸が熱くなる思いである。

本稿においては、朝鮮の偵察衛星の発射から考察し、就任後一二年間の足跡を辿りながら、米韓日の安全保障と軍事的決着が盤石になり、朝鮮半島の対決と緊張はいつになく高まりつつある中で平和維持の問題を追及してみようと思う。核と衛星は安全保障問題と切り離して考えられない極めて重要な問題であり、この問題の考察は東アジアの平和と密接に繋がる緊喫の問題と思われる。

人工衛星発射は

平和を脅すのか

人工衛星運搬ロケットの発射は米国では宇宙防衛隊が衛星番号「五八四〇〇」、識別番号「二〇二三一七九A」を付与したが、日本だけは「国際社会の平和と安全を脅し、国連安保理の違反」だとして、一月二四、二九日衆参院で抗議決議を賛成多数で採択した。今回の朝鮮のロケット発射に対しては二〇〇六年から一七年にロシアや中国が制裁に加わった時とは違い、安保理決議は行われぬだろうと予測している人が多い。

去る七月二二日に、新型ICBM「火星砲一八」が一時間一四分五一秒、一〇〇一・二キロ飛行させて最大高度六六四八・四^{*}に達した後、公海上の目標水域に正確に着弾させた以降の実験であった。日本の防衛省が注目したように飛行時間七四分を超えたのは最長で、安全を考慮し一段目は標準弾道飛行で二、三段目はロケット軌道に設定されて、ミサイルの性能向上が進んでいると見られている。『世界』 2023.9 2891。

金正恩国防委員会第一委員長は二〇一三年三六年ぶりに党大会を開催し自ら党委員長に就任し、「経済建設と核武力建設の並進路線」を打ち出して、核開発による費用削減で抑止力を高め、その分を経済建設と人民生活の向上に力を振り向けたという「伊集院5・7」②。経済では生産と分配の権限の一部を移譲する「社会主義企業責任管理制」、農業では「圃田担当責任制」の拡大で、自由な競争を認めることによつて経済を上向かせ、食糧問題の解決を図ろうとしている「大澤 T30」③。

金委員長は人工衛星を含めたミサイル発射実験を二〇一二年から二二年迄で一五〇回超に及び、核実験は二〇一三年、五八年に二回、一七年には六回目の核実験(水爆実験)と「米国を打撃することの可能な新型ICBM」火星一五型の発射実験に成功し「国家核武力の完成」を宣言し「平井一」、「平和を防衛するための強力な宝剣」で武装したとした。それは原子爆弾が生まれたロスアラモス国立研究所所長も務めたヘツカーが二〇一〇年に朝鮮に招待された際に最新遠心分離機二〇〇〇基が整然と設置しているのを確認している「フアイファイ

第八回党大会は 新たな飛躍になるか

ルド2020:359, 370)。^④ 「ロケットマン」と揶揄してきたトランプ大統領が一七年国連総会の演説で、「必要なら北朝鮮を完全破壊する」として、宣戦布告までしたが、金正恩委員長は「史上最高の超強硬対応措置断行」を取り、「老いばれ狂人を必ず火で制する」として三回の会談に至った[井上:115 [持林:871]]

⑤ 米軍はトランプの指示により先制攻撃計画「ブラッディ・ノーズ(鼻血)作戦」を立案したが、その実行は全面戦争で数十万人の犠牲者を出す暴挙として、「戦い抜く用意がない」と論じたという[井上:118]。

二〇一八年、金委員長はICBMと水爆実験を断行し、「世界が公認する戦略国家」を表明し[井上:132]、平昌冬季五輪の参加から文在寅大統領との首脳会談に繋がり、「板門店宣言」や「九月平壤共同宣言」など南北和解が実現した。

朝鮮は二〇一六年の第七回党大会で「国家経済開発五ヶ年戦略」を定め、実行したが二〇二一年の第八回党大会ではその失敗を認め、金委員長は①米国をはじめとする国際社会からの制裁、②自然災害、③新型コロナウイルスの影響の三重苦を挙げ、実施面に対する自己批判もした[大澤:152]。

党総書記に就任した金委員長は、「人民大衆第一主義」の人民的首領として新たな経済発展五ヶ年計画を発表した。それと共に、超大型水素爆弾、多弾頭技術の完成や極超音速滑空体の開発、中型潜水艦の現代化、原子力潜水艦の設計・開発、無人打撃装備や軍事偵察衛星の確保、核武装の高度化の「国防科学発展及び武器体系開発五ヶ年計画」を示した[朴正鎮:213]。日本では「個人化」する権威主義体制が七年から二六年しか持たないとする論調[大澤:231]があるが、現実には軍隊が水害の被害復旧事業(道路、橋、河川堤防等)や住宅建設等の経済建設に貢献して人民の支持を受けていることが窺える[宮本:133]。

朝鮮では部分的な市場経済

の導入が二〇一〇年代には二〇〇カ所しかなかったチャンマダン(農民市場)が二〇一五年には四〇六カ所と倍増して、人口の八〇%が利用しているという[大澤:152]。筆者も実際自分の眼で確かめたが、平壤だけでも数カ所見られ、その活発化は目まぐるしく、携帯電話の普及率は二〇一九年時点で二五%とみられ、益々増えてきている[大澤:155]。

外国首脳をよく待たせる「遅刻魔」で知られるプーチン大統領が三〇分前に到着し満面の笑顔で出迎え「安定的で未来志向的な百年大計」を構築する幅広い分野での合意を見たことは何を意味するのか。安保理常任理事国が「現行のルールの枠内で」トウモロコシ二八〇〇トン、小麦粉三八三三トン、石油一万九三三バレルが朝鮮に輸出していることは密接度を物語っていると思われる[週刊金曜日:2023.9.22-31]。

朝ソ時代の六二年に武器援助問題がこじれ、六八年プエプロ号事件で決定的に毀損し断絶状態になった時期[我部:114]とか米中韓が中ソとの接近により後ろ盾がなくな

った時期とは大違いである。朝口の戦略関係は旧ソ連負債の九〇%(九九億ドル)を免除してインフラ整備を促進し、エネルギー分野で協力を進めている。まさしく、中国がロシアとの連帯をちらつかせ米国を揺さぶり、朝鮮は「独立変数」となっている[ハングョレ新聞:2023.9.27チヨン]。

明らかに違う新しい指導方式

金正恩委員長は統治スタイルを先軍政治とは違う党和国家中心のスタイルに修正したことが政治の安定に繋がっている。党中央の政治に乗り換え、最高指導者への権力集中を図りながら、一般市民には「親和性」幹部には「公開性・透明性・専門性・実用性」による厳しさを示しながら求心力を強化したという[大澤2017:145]。⑥、公開性は二〇一二年と今年二三年もロケット発射失敗を認めた事、透明性は日本の新聞記者に「自由取材」を許した事、実用性は朝鮮中央テレビで「外観の美しさより利便性が重要」と現地指導

の言葉を載せた事、公開性は二三年九月南浦市干潟堤防工事現場で被害が出た状況を確認し、無責任さと無規律による人災」と厳しく叱責する姿を報道した事「『世界』23年二月(28頁)、専門性は党内閣で専門家を登用する人事が確認されている」(大澤:150)。

朝鮮戦争の時から「核の脅威」に晒されてきた朝鮮は、休戦協定の五三年以降も在韓米軍基地と非武装地帯(DMZ)に九五〇個の核弾頭が配備され、「地上核兵器地域」として、開戦から一時間以内に核使用が可能であったとした「井上:43」。機密解除された米公文書によると、プエブロ号拿捕事件とEC-119米軍偵察機の墜落でも核攻撃は検討されたという。現在も韓国は日本同様、米国の「核の傘」の下にあり、戦略爆撃機や戦

略原潜、弾道ミサイルなど運搬手段の発達により米軍の投射能力は向上し、核の脅威にさらされている状況に変わりはしないのである「井上:45」。朝鮮は一九七九年から原子炉の建設を始め「藤井:39頁」、八六年に年間六kgのプルトニウム生産能力で原爆一

発の生産が可能となった「斎藤直樹:2019:37」。⑧ 米国防保障措置協定を国際原子力機関(IAEA)と締結したが、朝鮮は特別査察受け入れを拒否して、九三年に核拡散防止条約(NPT)を脱退し、第一次核危機が始まり朝米高官協議の末に九四年枠組み合意を成立させた「斎藤:33」⑨ 金正日国防委員長は二〇〇六年に第一回原爆実験を成功させ、ストックホルム国際平和研究所が世界で九番目の核兵器保有国として朝鮮を認定した「井上2023:25-26」。⑩ 米軍制服組ナンバー2の統合参謀本部副議長だったジョン・ハイテンは「世界一九二カ国中一一五位の経済力で世界の構図を一変させた。朝鮮は地球上のどの国よりも速く新たなミサイル、新たな能力、新たな兵器を作っている」とした「井上2023:10」。

朝鮮が保有するミサイルと原爆実験は次の通りである

下の表にある「名称」は米

軍の付けた通称。ノドン・テポドン²は発見地名、近年はNORTH KOREAS縮小「KN」に数字。

(出所)『防衛白書』『韓国国防白書』を元「磯崎2010:24-27」、再突入技術は音速2.4、摂七千度の高熱と激しい振動に耐えて起爆する技術が確立したと「朝鮮中央通信」報道。「斎藤2019:51」

米国のバイデン政権は対中国の包囲網として、豪州やインドを加えた、クアッド(QUAD)を作り、二〇二二年九月には、五年ぶりに大規模な米韓合同軍事演習を実施し横須賀基地に配備されている原子力空母ロナルド・レーガンも参加した。二〇二三年、八月に米韓日キャンブ・デービット会談では、北朝鮮の完全な非核化へのコミットメントの下で団結し、拉致問題、抑留者問題の即時解決を含め、人権・人道問題に取り組み冷戦敵対宣言を発表することとで、岸田首相の金委員長との首脳会談は敵対姿勢を隠すマスクであるほかないことが暴露された。

金委員長は二〇二二年一月二日党中央委員会拡大総会で、二三年の「核武力及び国防防

名称	スカッド	ノドン	テポドン	テポドン2	ムスダン	SLBM	SLBM	KN08	核実験
射程距離	300-1000	1300km	1500km	1.2万km	4千km	2000km	潜水艦発射	13000km	1回-2006年
弾頭重量	1000kg	700kg	500kg	600kg	650kg	1000kg		再突入技術	2-2009年
時期	1980年	配備済	1998年	2006, 12	2007年	2016年	2023年	2012, 17	3-2013年
発射台	移動式	移動式	固定式	固定式	移動	移動式	移動式	移動式	4-2016年
燃料	液体固体 KN08	液体	液体	液体固体 KN08	液体	固体 KN-23	固体	液体	5-2016年
朝鮮名	火星5・6	火星7	白頭山1	光明星1-4	火星10	北極星2	北極星4, 5	火星15・17	6-2017年
構造			電磁バリス	ICBM用水爆		水中発射	水中発射	米国本土	7-?年

展の変革的戦略」を提示し、尹錫悦政権を「明白な敵」として、「戦術核」の保有量を幾何学的に増やすことを戦略の重点方針にするとした「井上：206」。日本のミサイル防衛はイージス艦の海上配備型迎撃ミサイル（SM3）で迎撃、失敗した場合はPAC3で撃ち落とす二段構えだが、対処は困難だとしている。朝鮮はロフテッド軌道による発射だけではなく、電磁パルス（EMP）攻撃（六五キロ高高度の大気圏で核爆発するとインフラが機能しなくなる）の可能性も鑑みて防御は無理だとしている「井上：209」。

わが国

来年二〇二四年は米国大統領選挙が行われ、トランプ大統領が登場する可能性が高まっている。若しトランプが大統領になれば、ウクライナから手を引くであろうし、朝米関係はどのような動きを見せるのかは注目の的である。日本は「無関与政策」ではなく、交流・対話・協力によって朝鮮の脅威除去を図る「関与政策」への転換を図るべきである。それは、米中両国が朝鮮の「核・ミサイル」

が中東やテロ支援国への拡散を防ぐことに重点を置き、朝鮮半島情勢を「現状維持」する兆候が見られる。日本だけが従来通りの「制裁」政策を取り続けられれば、米中間で孤立する可能性が高い。日本の対応策はミサイル発射のたびに「抗議した」とフアツクスするだけで一切の接触はない。核兵器を保有した朝鮮に対して放棄させないの手立てが見つかからないのであれば使わせない手立てを考えるしかない。日本は被爆国として核禁止条約に加盟して全世界に核抑止を訴え、「実践行動」で問題解決の意志を示すべきである。

⑩ 金正恩委員長は青年たちの前で、二〇三六年前後で全ての人民が幸福を享受し、隆盛繁栄する社会主義強国を打ち立てる「井上：208」としたのは米国が挑発しない限り戦争する気はないと思われる。若し、東海（日本海）で戦争になれば朝日韓三国とも消滅するのは間違いないであろう。

（二〇二三年二月一〇日）

【注】

- ① 金志永『朝鮮新報』2023年12月1日掲載。
- ② 伊集院敦「矛盾抱えた『金正恩経済学』の10年～改革開放と安保・体制維持のジレンマ」『金正恩時代の北朝鮮経済』文眞堂 2021年。
- ③ 大澤傑『「個人化」する権威主義体制』明石書店 2023年。
- ④ ファイフィールド、アンナ『金正恩の実像—世界を翻弄する独裁者』高取芳彦・廣幡晴菜訳 扶桑社 2020年
- ⑤ 寺林祐介「米国トランプ政権における北朝鮮の非核化交渉プロセス～北朝鮮の核・ミサイル能力の向上を踏まえて」『立法と調査』第440号。
- ⑥ 大澤文護『金正恩体制形成と国際危機管理—北朝鮮核ミサイル問題で日本人が本当に考えるべきこと』唯学書房 2017年。
- ⑦ 藤井非三四『北朝鮮体制の起源とその行く末』国書刊行会 2019年。
- ⑧ 斎藤直樹『まやかしの非核化と日本の安全保障』論創社 2023年。
- ⑨ 斎藤直樹『北朝鮮危機の歴史的構造1945-2000』論創社 2013年。
- ⑩ 井上智太郎『金正恩の核兵器—北朝鮮のミサイル戦略と日本』ちくま新書 2023年。
- ⑪ 朝鮮通信2023年5月2日 朴相吉外務次官談話



声 明

大韓民国の憲法の下、戦犯企業が賠償責任を免れる道はない！ 遅延した正義、司法府の自省を促す

二〇二三年十二月二一日

(社)日帝強制動員市民の会

「事必帰正」、当然の結果である。今日、大法院は日帝強制占領期の強制動員事件に關して、被告三菱重工業と日本製鉄の不法行為を認め、損害賠償責任を確定した。長い歲月の間、待ちわびてこの日が来ることを待っていた原告と共に判決を歓迎する。

しかし「遅延した正義は、正義ではない」という言葉のように残念だが、今日の判決が強制労働と人権蹂躪を受けた被害者を慰労することはできなかった。訴訟が長引いた間に、被害の当事者たちがまさに皆、亡くなってしまったからである。特に、三菱勤労挺身隊事件の場合、二〇一八年十二月大法院に事件が係留され、最終判決まで何年も長くなる間、原告吳哲錫氏以外の三人のおばあさんたちが順

次亡くなったという点から、司法府の裁判遅延責任を嚴重に問うしかない。

現在、大法院には最終判断を待っている事件だけでなく、梁錦徳さんの特別現金化命令、再抗告事件が係留中である。これらの事件が大法院に係留されてからも、ほとんどの年に至っており遅滞なく判決が行われることを促す。

併せて大法院以外にも、各裁判所にいろいろな件の訴訟が係留中なので、今日の判決で法律的な争点がすべて解消されたので、迅速に判決を宣告してくれるように促す。

特に、大法院に係留された特別現金化命令の再抗告事件の場合、法律的争点の余地すらないので、宣告をより後回しにする理由がなく、遅れれば遅れるほど司法府に対する

国民的疑惑と不信を育てるだけである、と申し付けておく。

特に今日の宣告で意味があるのは、消滅時効に關する争点に対する大法院の立場を明確にした部分である。今日、大法院が「強制動員の被害者が被告企業を相手に損害賠償を請求できる事実上の障害状態が、二〇一八・十・三〇大法院全員合議体判決宣告の時まで続いたので、被害者はその日以後の相当な期間のうちには損害賠償請求をできる」という趣旨の判断をしたことで、被害者の権利行使可能期間を広く認めたという点から、大きな意味がある判決と評価する。

今日の大法院判決で「二〇一二・五・二四大法院判決以後、相当期間が過ぎて提起された訴訟は、消滅時効が完成

したので棄却されるべき」という、戦犯企業側の主張はこれ以上立つ位置がなくなつた。

付け加えて三菱重工業など被告企業はこの間、韓国の裁判所で自分たちの意見を主張、立証する十分な機会を保障された後に今日の最終判決を宣告されたので、司法府の判断を受け入れて、迅速に判決どおり賠償責任を履行することを促す。強調するが、大韓民国の憲法の下で、戦犯企業が賠償を免れる道はない。

最後に、尹錫悦政府も三権分立の原則に従って、第三者弁済案のように変則的な解決法、解決法とは言えない解決法を撤回し、大法院判決趣旨に沿って日本企業の損害賠償責任が履行されるよう、政府としての責務を尽くさなければならぬ。憲法と大法院判決の趣旨を否定して、再び日本被告企業に免罪符をあげることを企てるなら、国民からの糾弾を免れられないだろう。

【李洋秀氏訳】

歴史の心

第10講 朝鮮王朝と儒学

金 宗 鎰

（社協東海支部会長）

一三九二年、李成桂による朝鮮王朝が成った。高麗の仏教王朝を倒しての儒学理念国家の出現である。

新王朝は農業技術の発達と天文研究、国際交易の増大等で大きな進歩をなした。対外戦争では、壬辰倭乱を克服する、社会的原動力を發揮した。

しかし、これまでの歴史の記述は、孤立した個々の達成した成果としかとらえていない傾向を克服しきれていない。

例えば、農業技術の発展を、世宗大王の英明、豊臣秀吉の侵略も李舜臣の天才、の個々の成功と記述されている。

壬辰倭乱においては、新たに金日成総合大学における新研究として、義兵の役割が追加されたが、義兵活動の基底に関する考察はない。

その理由の一つは、朝鮮王朝を植民地支配した「日本史」によって、その学術的研究が、日本帝国の宗主国の支配に編入されたからである。今一つは、儒学（朱子学）理念の、朝鮮王朝の歴史を新儒学理念

の「進歩性」と結合させることに、ハードルを感じているからだ。

李氏朝鮮の「事大思想」を朝鮮史学界は強く否定する余り、その王朝の成立を否定的に記述する。

近代化の足かせとなり、解放後の反封建性の克服という課題との相関があるようだ。

よって、現在でも、朝鮮に壬辰倭乱の戦勝の意識が弱く、日本に敗戦の認識がない状況だ。外交・交易の増大では、「朝鮮通信使研究」が今一つである。朝鮮通信使に対する徳川日本の要請である、文士（学者）、医者、画家、馬上才、楽隊の派遣の持つ意義、また主力商品の生糸、人蔘の交易の、東アジア圏的交流のとらえ方等が深く研究されるべき課題としてある。

1 哲学思想 新儒学

李朝時代には仏教がすたれ、儒学（性理学）が支配階

級の主な支配思想となった。

「権近（二三五二〜一四〇九）は理の第一次性を主張し、人間を含む世界の万物は理の発現であり、人間は理から受ける「心」を自己の根本属性とし、理の発現である封建制度と秩序によって動く受動的で従属的な存在であるとした。自然はもとより社会の発展もすべて理（天理）によってなされるとした。」（「朝鮮通史」上・ピョンヤン 一九九二）

「徐敬徳（一四八九〜一五六四）は、物質的実体である気は始原も発生もなく、したがって終末も消滅もない永遠な存在であるとし、世界の諸現象が発生し、発展するのは、物質的な気的作用によるものであると解釈した。そして世界の物質的基礎であり、その本質なす気は、それ自体のなかに属性なる二つの要素である陰と陽をあわせ持ち、それらの矛盾と闘争によってすべての事物現象が生じ、宇宙自然も形成されるとして、その原因は物質的な気自体の力にあると主張した。」（同上）

朝鮮の新儒学者たちは、理一元論、氣一元論、または、理氣二元論と論争を展開した。

世界の始原を、「無極」(太極)と認識して、その主宰者を理か気かと論じた。

「理とはなにか。このことに関して、現在の儒学研究における一定の合意はない」(「朝鮮思想全史」小倉紀蔵・ちくま新書)という条件で朝鮮史学界の理・氣論を参考にした。

朝鮮史において、三十七二年の高句麗に同時に伝来した仏教と儒学の千年の共存は、新儒学の哲学思想の時代に排仏尊儒となる。

李退溪(一五〇一〜一五七〇)は朝鮮朱子学の最高峰として、東洋哲学史上にそびえた。

李退溪と奇大升との間にくり広げられた「四端七情論争」は朝鮮儒学史上最大の哲学論争であった。

四端は仁・義・礼・智の四つの道徳性、七情は喜・怒・哀・懼・愛・悪(お)・欲という七つの情である。

李退溪の著書は、江戸時代に大いに研究され、朝鮮通信使の使行録には江戸の儒者の最大の関心であったこと、著書が大阪などでは山積みされて売られていたとある。「四七論」は英語圏でも今や有名であり、『The Four Seven Debate』という述語が定着している。「朝鮮思想全史」小倉紀蔵)

李退溪の主理説に抗して、李栗谷(一五三六〜一五八四)は主氣説を主張して、朝鮮儒学界は二分される。(両者とも韓国紙幣の顔となつている)

朝鮮における新儒学の導入は、初期の社会における肯定的役割から、空理空論化していった。

「朝鮮の伝統儒教である朱子学が李朝中期にころから次第に現実離れして虚学化したのに対し、儒学内部からの内在的批判を通して登場した『実事求是』の思想及び学問を、実学といい、その学派を「実学派と呼ぶ」(「朝鮮儒学」姜在彦)。

「実学思想は、祖国の富強

発展をめざす進歩的な両班、自分の生活改善を要求して立ち上がった農民、および都市平民の利益と志向の反映であり、朝鮮の唯物論的な伝統の継承発展であった」(「朝鮮哲学史」ピョンヤン)。

朝鮮史学会は、この高い評価を以て、その後の金玉均の開化思想の淵源とする。

実学を理解する上で、日本で出版されている『熱河日記』(朴趾源・平凡社)は参考になる。朴趾源(一七三七〜一八〇五)は実学派の大家として知られる。

実学派の洪大容は、地球は丸く、自転しているとの認識を持ち、天文学、数学に造詣が深かった。

※ ※ ※

新儒学の現在における学術研究は、さして深くないようだ。

ヨーロッパの自然科学におくれをとったという歴史の条件によって、評価しない。

朝鮮学界においては、朝鮮民主主義人民共和国学界の朝

鮮王朝の中国への事大思想に對してこれを評価しない。日本史学界は、ヨーロッパ的の見解に、植民地化した朝鮮国王朝の歴史を、植民地史観でとらえる。江戸時代の朝鮮からの儒学の影響をことさらに低く見積もる。

ドナルド・キーンと司馬遼太郎の対談で、司馬が日本は儒学の原則にとられずにいたとの弁に、キーンは、必ずしもそうでないと、反論している。「日本文化の特殊性」が史実を「日本史の方法」で見える。

江戸時代からの儒学の受容を認めようとする。高校の教科書『倫理』はかなりの水準である。が、朝鮮新儒学には一言半句の記述もない。

※ ※ ※

キース・ブラットの「朝鮮文化史」による儒学理解を述べる。

ブラットは中国語を解し、中国、朝鮮(韓国)、日本研究を深め、大学中国委員会(ロンドン)委員長、英国コリア

ンスタデューズ学会会長を歴任。『新儒教の浸透』の項から引用する。

儒教は人々にとって重要なものだった。

三国時代の指導者たちにとって儒教は、国家形成の進行とともに、自らの権威を下支えする手段となった。それは統一新羅の上流階級にとって私的な学問の骨組みであり、都市の発展の二本だった。高麗時代の人々は個人の救済を行なった仏教の方にもっと魅力を感じていたかもしれない。

それでも、儒教は忠誠心、敬意、決意という素晴らしい美德を語っていた。「新儒教」とは、それまでの古い儒学が賞味期限をとくに過ぎてしまったことに気づき、落ち込んでしまった沈滞から国を引き上げ、想像上の古代の栄光を取り戻すことを願って生まれた。

古い儒学が解体されて、ホコリが払われ、仏教形而上学の観点から再検証した。

これは朱子が宇宙論的思索をまとめ、新たに明らかにされた原則を政治と社会の調和

のための実用的な規則へと組み上げるまでは考えられてこなかった。実存主義についての議論の領域へ導くものだった。

中でも最も重要なことは、宇宙が太極(「究極の根源」の意)によって支配されているのと同じく、国家が絶対的君主に、一族や家族が家長に支配されるべきと云う主張だ。

・・・教育制度においても、朱子による『四書』の注解が基礎となった。

・・・最初の偉大な朝鮮の思想家、李退溪(一五〇一—一五七〇)が現れた。

かれの登場は「朝鮮の新儒教思想における成熟の到来」であった。

退溪はとくに、理(原理)と気(物質)の宇宙二元論、および「道」にあたる新儒教の「太極」の働きにどう関わるかを、考察した。

・・・すべての人間は精神と肉体からできており、人間の本质についての議論はそこから発生する。

退溪は四つの始まりと七つ

の感情(四端七情)があると考えた。

四端は孟子のいう慈愛(惻隠)、正義(羞惡)、謙虚(辞讓)、賢さ(是非)であり、七情とは『礼記』による喜、怒、哀(恐れ)、愛、欲である。

退溪は四端は理から、七情は気から生じ、精神が肉体よりも優先されると結論づけた。

2 農業技術の進歩

「十八世紀前は、その東アジアの農業が世界的にもっとも優位に立ったものだという事実を忘れてはならない。十四・十五世紀に達成されたわが国の集約農業の世界史的な位置を上記のように確認するとき、同じ時期の文化的業績のなかで世界的な優秀性を帯びているものについても、理にかなったものとして理解できる。」(李泰鎮「朝鮮王朝社会と儒教」法政大学出版社)

その農業技術の具体的内容は、朝鮮王朝の最初の農書であった『農事直説』に示されている。

第一に、農法は肥料を施す(灰と人糞)。

第二に、稲作が一年一作、畑作が二年三作。

第三に、水利施設。溜め池から用水へ、そして移秧(いおう)法(田植えを行う稲作農法)へ、苗代と本田の分離がなされた。

作物として、木綿が多く生産されて、衣料生活を改善しばかりか、商品として流通した。(商業の発展)

地方社会に根を下ろした儒学・知識人は、農業技術問題に関心を強めた。

それは「理生」、すなわち生活をよく治めなければ、よく治められない、という意識に立脚する。

「農事は国の大本なり」である。彼等によって、「江南農法」が導入さる。



鑑賞のおすすめ



【その 91】

書籍『朝鮮語を学ぼう』
(1987年)
菅野裕臣 監修
朝鮮語学研究会 編著

伊藤 一郎

(koreamovieculture@yahoo.co.jp)

朝鮮文化を知る会

科学的に説明される朝鮮語文法 一九七〇年代、二〇〇〇年代の大波に……

本書は三五年以上前に出版された古い本である。当時は本とカセットテープが別売りになっており、両方揃えようと十代、二十代の学生にとつては高額の消費となった。

二〇一五年出版された改訂版には、従来の書籍の価格とあまり変わらないにもかかわらずCDが付属されている。

本書は語学雑誌『基礎ハングル』の講座をもとに、体系的にまとめられた旧版を、改定された正書法に基づき、見直したものである。その題名はよく語学書に見られる「入門」とは雰囲気を変にする。発売当初、本書は類書と比べて内容が充実したものであった。当時、日本社会において一般的に敬遠される雰囲気であった朝鮮語を「学ぼう!」という市民運動の匂いが感じられる。

本書を監修した菅野裕臣氏は、『朝鮮語を学ぼう』の初版の事実上の著者であるとともに、『朝鮮語の入門』の初版の著者の著者、『コスモス朝和辞典』の筆頭編者として朝鮮語界では有名な学者であ

った。

菅野裕臣氏は、東京外国語大学朝鮮語部が法的に廃止されて五〇年目の一九七七年に同大学朝鮮語学科【注1】が復活した際に専任講師に就任し、その後数十年にわたって同学部の教育の中心を担った。

一九七〇年はNHKに朝鮮語講座開設を求める市民運動が起こり、朝鮮語学習に対する高まりを見せていた。また一九七五年には、当時の文部大臣であった永井道夫氏がある講演で、朝鮮語教育の必要性を主張した。そして国立の外国語大学である同大学に朝鮮語学科が存在しないことの不備を指摘する声も高まっていた。

しかし当時の朝鮮語の教員たちの日常は困難を極めた。学科設立の前後の同大学において、肉体労働をしながら学究生活を送った教員はあまり存在しなかったと思われる。同学科には設立後に徐々に講師が一人、二人と増員されたが、初期のそれらの多くの顔ぶれが政治団体の出身者、も

しくは社会運動家であったのも、同学科の特徴であった。数十年後の同大学の学内においても、同じ学科について「個性的」(さまざまな意味を含む)と思われ、という意見が聞かれた。

そのような「個性的」な朝鮮語学科であったが、一九九〇年代後半から二〇〇〇年代以降に東アジアで起こった韓国大衆文化の流行である韓流をうけて、従来とは性格を異にする学生が入学してきた。

同大学の入学試験における朝鮮語学科の合格点が、一部の西洋語学科の合格点と同等もしくは上回った年があったのもこの時期である。

しかし韓国ドラマを熱心に視聴する学生たちがいる一方で、学内では「朝鮮語学科の合格通知を受け取ったら親戚が実家を訪れてきた。(在日朝鮮人と)誤解されると困るので入学をやめてほしいと言われた」など、日本社会における根強い差別を再度想起させる出来事もあった。また、学科内における差別に無理解な日本人学生と朝鮮人学生と

の溝が生じていたこともあった。

ただ一つの言語に過ぎない「朝鮮語」という言語を学びに来た学生と、「朝鮮語」とその背景にある文化や政治を語ろうとする学生との間にも認識の差が見られた。

日本において長い間、複雑な背景を持つてきた「朝鮮語」を教える教員は、自らの苦しい胸の内を打ち明けた朝鮮人学生にも正面から向かい合わなかった。

同学科で教育された朝鮮語の文法の基礎は、『朝鮮語を学ぼう』でも説明されている「朝鮮語の3種類の語基…第IⅴIII語基」【注2】を主に使ったものであった。従来なるとなく「言葉なので例外もある」と受け入れてきた(あるいは誤魔化されてきた)朝鮮語の文法の不可解な点を科学的に説明した画期的なものであった。

一方で、彼ら【注3】が主張する「科学的」教育以外の政治性を帯びた内容を論じる学者が、「俗物」として意図的に同学科の正規の教員から

排除されてきたことも事実である。

同学科のある教員は、「言語学は数学のように科学的だが、その他の分野はそもそも学問かどうかあやしい、あるいは学問としての歴史が浅い」と述べていた。

同学科に一九七七年から一九九八年まで赴任した客員教官(朝鮮人・韓国人)のほとんどの専門が言語学というのも、言語学を「科学的」ととらえるこれらの教員たちの認識を反映していると思われる。

しかし日本における朝鮮語の学習は、その歴史的経緯から、どうしても政治とは切つて切れないものである。

「科学的」教育を受ける一方で、一部の抑圧された朝鮮人学生や良心のある日本人学生の中には、「科学的」教育で至らない心理的葛藤を強いられた。

昨年十月、一昨年十か月に亡くなった菅野裕臣氏を偲ぶ会が東京で開催された。偲ぶ会およびかけは、『朝鮮語を学ぼう』の改訂版の著者が行

なった。同会では菅野裕臣氏が生前に文法の教育において提唱した「第IⅴIII語基」についての資料も配布されたという。しかし偲ぶ会の通知を見ながら複雑な思いに駆られた。朝鮮語教育をその比類ない情熱をもってやり遂げた故人に改めて敬意を感じた一方で、生前の故人の「学者」としての傲慢な振る舞いについての苦々しい思い出も同時に蘇ってきた。

【注1】一九七七年の朝鮮語学科設立以降、東京外国大学では学内において朝鮮語専攻の学生の所属名に少し変化が見られたが、本稿では朝鮮語専攻の学生が所属した学科を「朝鮮語学科」で統一する。

【注2】本国の韓国や共和国にはない概念で、日本産の文法理論。

【注3】少数の非常勤講師、客員教授を除き、筆者の知る限り正規の教員はすべて男性であった。

井戸茶碗

続・朝鮮貨幣史小考 朝鮮の雑器茶碗が日本の国宝に！

山崎 眞臣

〔文化庁/指定文化財等データベース〕



国宝・重要文化財 (美術工芸品)

名称：井戸茶碗 (銘喜左衛門/)

やや開き気味に立ち上がった形姿で、内外にかかった釉薬は枇杷色をした長石と土灰の混合釉。高台から高台際にかけてカイラギがある。胴の一部に漆繕いが見られる。見込みが深く、底部が薄い。

かつて、朝鮮でメシ喰い茶碗として造られたものが、日本では国宝に指定されている事を読者の皆様は、御存じでしょうか。

昭和二六年六月九日、重要文化財であった

名称「井戸茶碗<銘・喜左衛門>」

国・朝鮮 時代・李朝等々

が、国宝に指定された事が『官報 七五〇二号』で告示されました。

まず、私の感想ですが、かつてメシ喰い茶碗の様な雑器を、国宝にする様な国は、世界広しと云えど、日本だけで

はないでしょうか。日本国が保護し管理して、もちろん持主には、それなりの手当が払われている事でしょうか。不思議な国です、日本は！

井戸茶碗は、お抹茶の世界では、第一級に置かれ、李朝初期に造られ、鉄分の多い荒目の土で、焼き上がるとびわ色の肌の釉が掛かり、窯内の火加減で青味をおびたものを「青井戸」と呼び、大ぶりのものを「大井戸」と。喜左衛門井戸は大井戸です。そして「古井戸」の古は小で、小ぶりのもの、「井戸脇」は、格の下るものと別けられますが、現在、日本には萬と数え

る井戸茶碗が有ると思いません。(井戸茶碗の窯元は現在でも不明)

茶の世界では、一、井戸二、樂 三、唐津 と呪文の様に唱えられています。楽茶碗は抹茶を飲む為にだけ造られ、低温(約八百度、普通の陶器は千三百度ほど)で焼かれたもので、千利休の創始と云われています。

初代は長次郎、二代は常慶(豊臣秀吉から「楽」の字の印を賜り、家号とした)、三代目・道入(別名のんこう)以降現在で十五代と続いています。

「唐津」は現在の佐賀県唐津市にある窯の事で、天正時

代頃から始まり、秀吉の朝鮮侵略の時、連れてこられた陶工達によって成熟します。萩焼や薩摩焼も朝鮮からの捕虜達によって盛況となり、現在まで続いています。

「朝鮮唐津」と云われる品もありますが、朝鮮中部の諸窯の作風をまねた物で、当時も今も茶人にもてはやされています。「火ばかり」と呼ばれている茶碗があり有名ですが、陶工と土と釉薬は朝鮮のものだが、火だけは日本のものと云った意味であります。

井戸茶碗の他に、雑器として造られ、抹茶茶碗に転用され、茶人に喜ばれた物には、熊川(こもがい)三島、呉器、

伊羅保、蕎麦、粉引など有り
ますが、ほとんど李朝に入っ
てからの物で、高麗時代の物
は少ないのですが、李朝に入
ってから起こった事で陶磁器
業界が一変し恐慌をもたらし
ました。

例えば三島焼きを焼いてい
た窯元は『地理志』によれば、
八道百三十六ヶ所あったと記
されていますが、李朝に入ると
と激減します。高麗時代の様
に、唐風の美術品的な手の込
んだ物が造れなくなったので
す。

それと共に、日本では抹茶
の世界が侘茶にかたむき、華
美で唐風の物が好まれなくな
り、朝鮮からの輸入品が少な
くなった事も原因の一つです
が、もっと大きな事は、李朝
が取った国策でした。

儒教を基にして、仏教を廃
する事が大きな原因で、その
為に、食器類を作っていた窯
元など窯業界は一大パニック
に落ち込みました。

(つづく)

いま面白い市民運動の情報誌

地元 グループ紙誌 坪見

●なごや市職

(第二三九八号) 二〇二四年一
月一・十一日 発行 名古屋市中区
職員労働組合 / 名古屋市中区
三の丸

●「新春インタビュー」

原田
拓郎さん / 戦争で亡くなった
人々・一人ひとりに人生があ
った

○辰年のみんな、あつまれ！

○見て見て！私の自慢の龍グ
ッズ！

●日中友好新聞・愛知県連版

ほか
(二〇二四年一月一日) 発行
日中友好協会愛知県連 / 名
古屋市千種区
○中国百科検定・懇談会を開
催

○陸二胡教室・十二月 open
○【中国ものしりコーナー】

点心と茶の違いは

ほか

●結(ゆい)

ほか
(第三四号) 二〇二三・十・七
発行 二〇二〇年と連帯する市民の
会 / 名古屋市中熱田区

○二〇二三・十一・二九「ウ
イツシユマさん名古屋入管死
亡事件」 国家賠償裁判名古屋
地裁第十回口頭弁論報告 / 小
野政美

○二一世紀の革命 / たかだ洋
子

○「ユニオン懇談会」 福島原
発トリチウム汚染水 / 問題点
と対策について / 「汚染水問
題」コスト優先の海洋放出

ほか

●窓の会

ほか
(第八九号) 二〇二三・十二・
十二 発行 二〇二二から出版 / 豊
橋市

○現在の日朝関係 / 金正恩時
代から読み解く / 文光喜
○数学者・藤原正彦の警告 /
読書習慣の育成こそ真の国
防 / 別所興一

IMAIKE MINAMI
今池 CLINIC
南クリニック

院長 南洋二
NAM YANG I

〒464-0850 名古屋千種区今池1-28-12
PHONE.052-733-1515
FAX.052-733-1516

こゝろ出版

〒441-8052 愛知県豊橋市柱三番町79
Tel.0532-47-0509 Fax.0532-47-3109
E-mail korekara09@tees.jp

IPPON

新年 謹賀

wine & dining
SHOW'S
mizoguchi

創作料理と葡萄酒・シヨウス
〒464-0831 モリヤスビル2 3F
予約受付052-961-3996

○最小限の犠牲は許されるのですか? / なみだの分かち合いアジアよりゆう・チャクマ

●ARAKUSA (名古屋法律事務所友の会ニユース)

(第一二五号) 二〇二四・一 発行 名古屋法律事務所 / 名古屋市中村区

○憲法9条のピンチ! / のりちゃんのノリノリ憲法

○「インタビュアー・戦争体験を語り継ぐ」佐藤明夫さん / 2度目の6年生・ぼくは、ロボットになった

○古希を迎えて・まだまだこれからだ / 松本篤周

●軍装操典

(第一五四号) 発行所 全日

本軍装研究会 / 岐阜市長良

○沖縄みやげの戦時代用品 / 出雲一郎

○軍事法規研究会の活動紹介 / 軍事法規研究会

○「近代遺跡考古学」本土決戦準備 / 大磯・二宮地区の秘匿坑道 / 市原 誠

●あま東部

(No. 一七四) 二〇二三・十・十 発行 二あま東部平和委員会 / 海部郡大治町

○「ピースカフェ平和のしゃべり場」あの暗黒の時代を健気に、そして懸命に生きた家族がいた / 人間の尊厳を踏み

にしないために、「新しい戦前」にする、運動にする

○二〇二三年をふり返る / 運動の積み重ねが変化を造り出す

○「平和のバトン」つなぎにつないで / 一〇〇人

●革新・愛知の会

(第三四三・三四四号) 二〇二四・一・十 発行 二平和・民主・革新の日本をめざす愛知の会 / 名古屋熱田区

○「インタビュアー」藤原のりまささん / 市民の思いに突き動かされた! 対等・平等・相互尊重でたかいます!

○二〇二四年を沖繩で迎える / 小林武さん

○「わが街の革新懇」名古屋東部革新の会・黒田二郎さん / 総会でさまざまな学習 / 意見広告チラシ・街頭宣伝、旺盛に活動!

●愛労連 (第三六六号) 二〇二四・一 発行 二愛知県労働組合総連合 / 名古屋熱田区

○あきらめない、仲間とともに / 私たちの生活を改善できる二〇二四国民春闘を

○奨学金問題は自己責任じゃない

○愛労委委員任命 / 働くものの駆け込み寺の再生を / 不当任命に抗議宣伝

●愛知宗教者平和の会会報

(第二五八号) 二〇二三・十二 発行 二同会・愛知県愛西市

○東京・芝 増上寺 / NGO、市民、宗教者による停戦を願う集い、開かれる

ほか

鳥居工堂

杉本洋

(四六五) 〇〇九七 名古屋市中村区平和が丘四一三三七
マンション惠 三〇一

ロシア・ユーラシア諸国へのかけはし

日本ユーラシア協会

愛知県連合会 名古屋市中村区愛知一三二二二六
電話・FAX 052-508-4368



県連年末財政への御協力に感謝します。

【表紙 三浦雅子】